

いんざい

No.198

2021. 11. 14

議会だより



師戸公園のコスモス畑



北総花の丘公園の小さい秋



朝陽のあたるマンション群



イルミライ☆INZAI(2020年12月)



いんざい君© 2011 Inzai City

- 令和2年度決算主要事業・決算の審査 P 2～3
決算審査特別委員会
- 第3回定例会補正予算の審査 P 4～5
第3回臨時会補正予算の審査
予算審査常任委員会
- 議員研修 P 6
災害前に対応すべきこと
- 第3回定例会 P 7
質問者一覧
- 一般質問 P 7～19
会派代表質問6人
- 各常任委員会の審査 P 20・21
文教福祉常任委員会
総務企画常任委員会
建設経済常任委員会
- 討論(教育環境改善に関する請願書) P 22
- 議案と審議結果一覧 P 23
- 請願・陳情
- 市民の声 P 24
- 次回定例会のお知らせ
- 編集後記

令和2年度 決算 主要事業

こんな事業を実施しました。

子育て支援の充実

- 学童クラブ運営・施設整備に要する経費 約5億5,378万円
- 保育園の運営・助成・委託に要する経費 約35億3,550万円
- 子ども・高校生等医療助成事業 約4億3,215万円

みんなのあしを守る

- ふれあいバス運行业務委託 約1億475万円
- 路線バス運行対策費補助金 約4,809万円

市民活動をあとおし

- 市民活動支援事業 約1,488万円
- 町内会等に要する経費 約2,939万円

一人一台端末で深い学び

- 小・中学校 ICT環境整備事業 約7億6,126万円
- 小学校施設整備改修事業 約1億7,081万円
- 中学校施設整備改修事業 約4億3,046万円
- 牧の原学校給食センター事業 約4億7,680万円

生活環境を守る

- 合併処理浄化槽設置事業 約4,938万円
- ごみの減量化・再資源化推進事業 約1,626万円
- 鳥獣被害対策事業 約2,205万円

市内の経済を元気に

- いんざい応援クーポン事業 約5億2,345万円
- 中小企業等緊急支援給付金 約1億5,770万円

決算の審査 決算審査特別委員会

令和2年度一般会計・特別会計・企業会計合わせて6会計について、決算審査特別委員会を設置し、9月9日、10日と13日から15日までの5日間で審査を行いました。
審査の結果、6会計すべての決算を認定すべきものと決定しました。その質疑の一部を要約して掲載します。

一般会計

コロナ禍で暮らし直撃

問 コロナ禍で生活保護が増加していると思われるが、前年度との比較は。

答 生活保護費は増えている。



問 小規模土地改良事業の支援

答 印旛沼、手賀沼、木下の3土地改良区にそれぞれいくら補助金が交付されたか。

答 3土地改良区への補助金は令和2年度から始まった。印旛沼に117万円、手賀沼に65万円、木下に39万円を交付した。

国民健康保険特別会計

医療のセーフティネット

問 人間ドック、脳ドック補助金の実績は。

答 人間ドックは759件で、前年比149件の減、脳ドックは175件で、前年比25件の減だった。コロナ禍で検査を中止した病院があったため減ったとみられる。

介護保険特別会計

利用控えみられる介護保険

問 コロナ禍での介護サービスの状況は。

答 訪問系のサービスは大きな変化がないが、通所系のサービスは利用を控えた人が多かったようだ。

市が行った交通安全対策

市が行った交通安全対策

とくに医療扶助費は、前年比で約6500万円増加した。

子育て世帯への特別給付金

問 コロナ禍での子育て世帯への支援は、国の事業と市の単独事業とあるが、市単独事業のところが、対象者が約3千人多いのはなぜか。

答 市単独事業には児童手当受給者に、高校生相当が含まれているためである。

スクールバスもコロナ対応

問 スクールバスの経費が前年より増えているが、なぜか。

答 臨時休校の分、夏休みが縮小され、分散登校に対応する増便をしたため経費は増額となっている。

予算 審査

予算審査常任委員会は、9月16日に一般会計補正予算第6号と介護保険特別会計補正予算第2号、9月30日に一般会計補正予算第7号の審査を行い、すべて原案のとおり可決しました。主な内容と質疑をお知らせします。

■一般会計補正予算 (第6号)

新型コロナウイルス対策事業に 8311万円の補正

問 新型コロナウイルス対策事業8311万6千円の増額補正の内訳は。

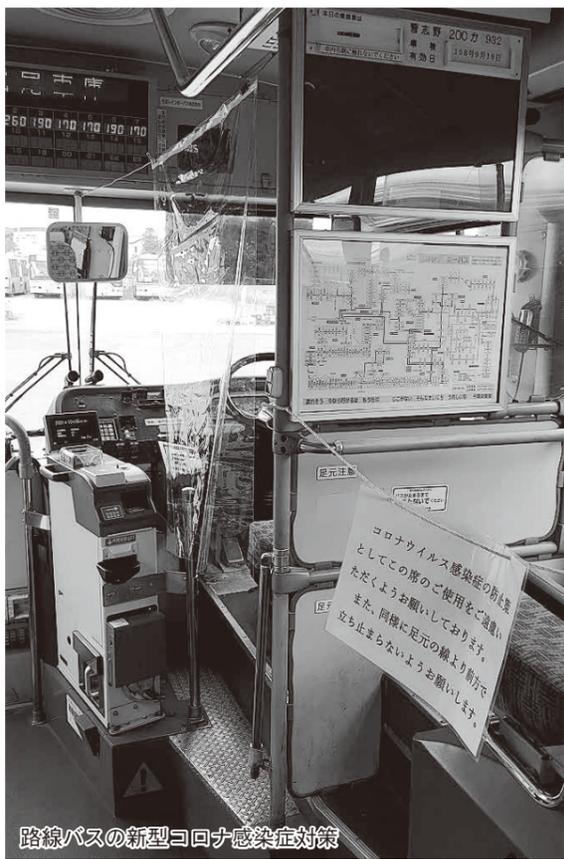
答 ワクチン接種をしていた、だいた個別医療機関に対して、

休日の加算と、時間外の加算の合計、また、国保連への事務手数料の増額分である。

路線バス・タクシーに 新型コロナウイルス対策支援金

問 路線バスの運行対策事業の内容は。

答 路線バス運行対策費補助



路線バスの新型コロナウイルス感染症対策

金73万7880円は、故障が多い宗像路線の車両代替による賃借料、リース料の増加分である。その他交付金416万円は、路線バス5事業者16路線、及びタクシー4事業者64台分について、新型コロナウイルス感染症対策への支援を行うものである。

保健福祉センター

大規模改修へ準備措置

問 保健福祉センター施設管理に要する経費の委託料増額の内容は。



大規模改修予定の保健福祉センター

答 令和4年度に高花の保健福祉センターの大規模改修工事を予定しており、高花老人福祉センターは1年間休止する。その間、備品、書類を旧宗像小学校へ搬出・保管するための運搬経費である。

子ども発達センター

事業は本塾で実施

問 子ども発達センターに要する経費281万3千円は何か。

答 保健福祉センターの大規模改修に伴い、子ども発達センターは令和4年度本塾支所と本塾保健センターで事



子ども発達センターでの親子教室

業を実施予定であり、そちらへ文書、備品等を搬出する経費である。

■介護保険特別会計 補正予算 (第2号)

保険料引き下げに伴い 特別徴収保険料を減額

問 特別徴収保険料現年分の3629万3千円の減額の詳細は。

答 令和3年度は第8期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の初年度に当たり介護保険料が見直されるが、当初予算段階では確定されていないことから、令和2年度の保険料額で積算をしていた。令和3年度に保険料額を改定して引き下げたことに伴い減額補正をするものである。

■一般会計補正予算 (第7号)

花火裁判判決確定に伴い賠償金を補正

(9月30日追加)

【提案理由】 市制施行20周年記念花火大会委託裁判の判決確定に伴い賠償金を支払うもの。

問 訴訟事件に要する経費の内訳は。

答 支払い命令のあった1200万円に加え、平成29年12月15日から支払い済までの年6分の割合の金額279万3

205円の合計1479万4千円を計上している。

問 観光振興対策事業242万4千円減額の積算根拠は。

答 反訴分の代理人弁護士報酬であり、棄却によって全額を減額するものである。

問 再発防止策は市民に公開するのか。

答 今後、総括を行い、その内容は市民に公開していく。

臨時会

■一般会計補正予算 (第5号)

松山下体育館でワクチン大規模接種へ

7月30日開かれた令和3年第3回臨時会では、歳入・歳出共に2億4336万5千円の一般会計補正予算(第5号)が上程され、本会議において審査、全会一致で可決されました。補正予算の内容及び主な質疑は次の通りです。

【新型コロナウイルス対策事業】 委託料の増額。

【提案理由】 新型コロナウイルススワクチンについて早期に接種完了を実現するため。

【主な質疑】

問 委託料2億2321万7千円の内容は。

答 大規模接種会場運営業務委託、接種会場(松山下公園の体育館)への送迎バス運行、医師、看護師の派遣、休日加算等の業務委託の合計である。実施期間は9月から11月までの計16回で、計1万6千人の接種を予定している。

問 報償費1680万円の内容は。

答 医師報酬960万円、看護師報酬480万円、薬剤師報酬240万円である。



松山下公園総合体育館での集団接種

9月定例会

9月定例会は、8月31日から9月30日までの31日間、開催されました。
市長提出案件は議案8件、認定6件、報告4件、同意2件で、その他に
請願2件、それぞれ慎重な審議が行われました。
審議結果は、23ページに掲載しています。

一般質問

令和3年第3回定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、質問時間を短縮して9月1日と2日に会派代表質問のみが行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。

この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

会派代表質問

- 1. 公明党 (藤江 研一) P8
- 2. 日本共産党 (山田 喜代子) P10
- 3. 至誠 (岩崎 成子) P12
- 4. 創進 (小川 利彦) P14
- 5. 響(ひびき) (金丸 和史) P16
- 6. 新政 (軍司 俊紀) P18

我が市政を問う

議員研修の開催

「地方議員が災害を前にして対応すべきこと」

講師：危機管理教育研究所代表

危機管理アドバイザー 国崎 信江 氏



講演する国崎信江氏



活発に質問する議員

令和3年8月18日、女性や生活者の視点で家庭、地域、企業の防災・防犯・事故防止対策を提唱されている国崎氏を講師にお迎えして議員研修会を開催しました。災害時における議会・議員の活動例や被害を軽減させるための防災対策、防災基本条例と役割明確化などを研鑽しました。県内他市の防災アドバイザーに就任されている同氏からは、非構造部材の耐震化や防災頭巾とヘル

メットなど興味深い講話もいただきました。議員からは、個人情報と安否確認、コロナ禍における避難所運営、地域防災計画と女性参画、避難所での外国人の方への対応、ペットの同伴、自主防災組織の連携など、活発な質疑応答が行われました。研修の成果は、今後の政策の調査研究や議会活動にぜひ生かしたいと考えます。

災害が発生したとき、議会はどのようにするの？

印西市議会では、平成28年11月に全員協議会を開催し、印西市域に大規模災害が発生した場合、市民等の安全確保、被害の拡大防止及び議会議員がどのように対応すべきか共通の認識を持ち、非常時に即応した役割を果たせるように、印西市議会大規模災害対応指針を定めました。

指針では、基本方針、具体的対応が示され、更に指針の考え方を基本に、印西市議会災害対策会議設置に必要な事項を要綱として定めました。そして、要綱の規定に基づき、具体的な対策行動について、印西市議会災害対策行動マニュアルを定め運用することとしています。マニュアルでは、議員が大規模災害発生時の初動期、中期、後期それぞれにどのように対応するかを定めています。



問 若い世代への接種の取り組みは

答 予約開始前倒しと予約枠の拡大

「公明党」藤江研一 議員

質問1 高齢者への新型コロナワクチン接種進捗と高齢者感染者数推移の関係性に対する受け止めは。

市長 高齢者は令和3年8月27日現在で1回目終了者が90・4%。60歳以上の感染者の割合は大幅に減少しており、ワクチン接種の効果は大きいと考えている。

再質問 30歳代以下の若い世代への接種の取り組みは。
健康子ども部長 39歳以下の

予約開始を9月6日に前倒しした。予約枠も可能な限り拡大したい。

再質問 接種に関する正確な情報発信とデマ情報に関する注意喚起は。

答弁 正確な情報を今後とも提供したい。厚労省のQ&Aへアクセスできるようにし、正確な情報提供やデマ情報への注意喚起に努めたい。

再質問 政府は8月3日、入院患者以外は自宅療養を基本

とし、宿泊療養も活用する方針を自治体に通知。25日には感染症法の規定に基づき、県と市が連携して自宅療養者等

に対する生活支援を行うよう求めている。療養方針改訂における市の役割は従来から変わらないのか。

答弁 県から31日、市町村との連携について照会があったので、県と連携できる事業について検討したい。

質問2 ポストコロナに向け

ついて、まず必要な人材の確保から検討してはどうか。

環境経済部長 脱炭素社会実現に向けたグリーン人材の派遣については、その詳細な内容の情報収集をしたい。

再質問 地域内での太陽光や風力発電の導入目標検討は。

答弁 現在策定している次期環境基本計画の中で検討する。

質問5 盛り土について市では元年度に大規模盛土造成地マップを作成し81カ所が公表



大規模盛り土造成地マップ印西市2 (2019年作成)

されているが、その後の増加は把握されているか。

都市建設部長 宅地開発に伴う造成は開発許可制度の審査で安全性確認を行っている。

質問6 当市における車中泊避難の対応は。

総務部長 民間商業施設駐車場の活用可能性を検討中。

再質問 エコノミークラス症候群対策として医療用ストッキングの備蓄は。

答弁 調査・研究したい。

質問7 子育て安心社会に關し産後健診対象者の明確化は。

健康子ども部長 対象者に流産や死産を経験した女性も含まれるので、市ホームページでの周知と、各医療機関とも連携し対応に努める。

質問8 八街市の事故を受け通学路等の危険箇所総点検は。

た経済、生活再生について、観光・飲食産業を支援し、利用する市民にも喜んで頂ける支援策の実施は。

環境経済部長 今後感染状況、ワクチン接種状況等を注視し、最も効果的な事業を検討中。

質問3 行政手続きのデジタル化の進捗状況は。

総務部長 令和4年度末までにオンライン手続きを求められている27手続きのうち19についてマイナポータルから申請可能。



現下の感染拡大を踏まえた緊急的な患者療養の考え方 (厚労省)

再質問 ガードレール等安全策の具体的な検討状況は。

都市建設部長 ガードレール等構造物設置を5カ所、路面標示による注意喚起を12カ所で予定。順次実施していく。

質問9 高齢者のふれあいバスの利用対象年齢70歳に達した方への個別周知は。

福祉部長 現在の広報等での周知を工夫したい。

再質問 高齢者のふれあいバス無償化の制度継続は。

市長 当面の間継続することとし、廃止は考えていない。

質問4 地方創生における再生可能エネルギー導入拡大に



介護ロボットとは (厚生労働省資料)



議会だよりを「マチイロ」で!



会議録がインターネットで閲覧できます。



問 固定資産税の公平・適正な課税を

答 他の取り組み事例を調査研究する

「日本共産党」山田喜代子議員



公平な固定資産税にすべき

い。とある。全家屋の調査をする考えはないか。

市長 公平、適正の観点から調査研究するようにする。

決にいつまでかかるのか。

答弁 調査、研究の中で明らかになってくると考える。

再質問 全数把握は喫緊の課題だ。降雨災害のリスクについてどう認識しているか。

答弁 国や県の土砂災害警戒区域を注視していく。

再質問 地方税法第408条では市町村長は固定資産税の状況を毎年少なくとも一回実地に調査させなければならぬ

し出により家屋現況図の整備に努めている。災害時に利用出来るよう、今年度より製本図の整備をする。
再質問 現状の体制でいつまでかかるのか。
市民部長 法務局からの税務通知による確認業務については通年で行っている。

再質問 紐付け出来ない家屋図形が5万件中、1・7万件あると聞いている。解

質問1 固定資産税は全家屋に公平、適正に課税されているか。GIS等に掲載されている家屋現況図について、市内の全家屋について把握出来ているか。

市長 家屋現況図により把握しているが、その中には課税台帳と紐付け出来ない家屋も有るため、法務局からの税務通知、建築確認申請、現地確認、所有者本人からの申

ている。

市長 ワクチン接種に全力で取り組む。

質問3 小林小学校に学童保育増設を。3年生以上の子どもは定員オーバーのため、小林北小学区の小林学童クラブに通っている。極暑の中マスクを着け20分以上かけて通う。早急に増設を求める。

市長 児童数の推移をもとに検討したい。

再質問 10年以上前、小林小学校には学童クラブが無く、今回同様に小林北小学区まで通っていた。保護者からの設置を求める請願があり小林小学校に設置された経緯がある。市内学童保育で他の学童保育に通うのは小林小学校だ



小林小学校敷地内の小林第2学童クラブ

けだ。補正予算で増設を。

健康子ども部長 人口の推移を見る。

質問4 特別教室・配膳室へのエアコン設置率は。佐倉市、富里市、酒々井町は既に設置済みだ。児童生徒、配膳員の健康、食品衛生の観点から早急な設置を求める。

教育長 特別教室は44%、配膳室は32%の設置率である。

計画的に設置するよう検討する。

質問5 小林小学校の通学路について、通学する児童が多い箇所「スリード規制」や「進入規制」をする考えはないか伺う。

市長 危険と思われる箇所を目的とし、警察を含めた関係機関や部署で構成する「通学路安全対策検討連絡協議会」において、情報共有すると共に、交通規制をはじめとした対策を協議していく。

再質問 車1台しか通れず児童とすれ違うことが困難な状況についての考えは。

教育部長 児童が歩行する場所が確保されていないことに

については危惧している。児童に対しては、学校を通じて、引き続き登下校時の安全について、指導を続けていきたいと考えている。

質問6 インボイス（適格請求書）制度について、2年後の10月に向け今年の10月から登録申請が始まる。課税事業者一人あたりの消費税負担対象者は農業者はじめ個人タクシー、生命・損保会社の外交員、建設業の一人親方、ヤクルトレディー、シルバー人材センターで働く高齢者（市内393名）等多岐にわたる。どう影響を受けるか調査すべきだ。市の認識は。

市長 市として調査するのは難しい。



問 台風・豪雨による土砂災害対策は

答 急傾斜地・がけ地の点検を行う

「至誠」岩崎成子議員

質問1 台風・豪雨による土砂災害対策は、どのように行っているか。

市長 毎年出水期前に、関係機関である印旛土木事務所、印西地区消防組合及び印西警察署と合同で急傾斜地の点検を行い、がけ地の変化等について確認をすることにより、市民に対する危険の周知や行政が行う警戒避難体制等の対策を行っている。転入者へのハザードマップの配布や広報

誌、ホームページなどにより、特別避難所の位置や避難行動をする際の留意点などの周知に努めている。また、土砂災害警戒区域及び近年がけ崩れの被害があった箇所の住民に

対しては、避難に関する文書を回覧するなど、安全な避難に繋がるよう注意の呼びかけをしている。なお、令和3年7月、熱海市で発生した土石流災害においては盛り土が原因である可能性が報道されて

いるので、国からの通知に基づき、各担当部署で盛り土の安全点検を行う予定である。

再質問 盛り土の安全点検はどのように進めていくのか。
都市建設部長 各担当部署において、9月上旬までに点検箇所の抽出を行う。その後の点検方法等についての詳細は、今後、国・県から示される予定である。
質問2 台風や異常気象による大雨で道路が冠水し、市民

生活に影響が出ている。市道の雨水対策はどうしているか。
都市建設部長 道路排水の備えとしては、市が管理する排水施設の維持管理に努めている。



台風・豪雨による砂災害 市内で発生したがけ崩れ現場

質問3 冠水する道路等への対応はどうか。
都市建設部長 過去に冠水が発生した箇所を確認し、市職員による集水樹周辺の落ち葉などの清掃を行っている。

質問4 公共交通である北総線の現況はどうか。

の「大桜」をイメージしたイルミネーションを配置し、周辺には「菜の花」「ホンドキツネ」をモチーフにしたイルミネーションを施すなど、南口を笑顔溢れる幻想的な空間にしたいと考えている。



中央駅南口に「吉高の大桜」をイメージしたイルミネーション配置

質問5 印旛中央土地区画整理事業の進捗状況はどうか。
都市建設部長 令和元年12月に、地権者による組合施行土地区画整理事業の事業化を目

指していくための発起人会が発足している。発起人会では、市からの補助金により、令和2年度までに土地利用計画や各種公共施設の設計等を行い、事業計画の素案としてまとめている。令和3年度以降は、県への認可申請に必要となる同意取得のため、地権者に対する説明会や意向確認を行う他、事業計画の精査を行い、組合設立の認可申請を目指す予定であると聞いている。発起人会のこれらの取り組みに合わせ、市では令和元年度から3カ年で環境影響評価を行っている。今後、これらの調査結果から環境の予測評価を行い、土地区画整理事業の検討状況に合わせて、県と協議する予定である。

再質問 運賃の値下げや利便性の向上を図るためには、北総線の乗降客をいかに増やすかが重要である。市としてはどのように対応していくのか。
市長 沿線を活性化し多くの人が印西市に来訪することで、地域のイメージアップと乗降客を増加させることが可能になると考える。千葉ニュー



中央駅北口のイルミネーション「イルミライ★INZAI」

再質問 駅南口に実施するイルミネーションは。
企画財政部長 約25万球の電飾を設置する。ロータリー中央のシンボルツリーに「吉高



新たな宿泊施設避難所の運用は

答 福祉的トリアージ後に移送する

「創進」小川利彦議員

質問1 アパホテル千葉印西牧の原駅前と災害時の福祉避難所協定を締結したが、ホテルへの避難者は指定されているのか。

市長 指定避難所等では避難生活を送ることが困難な方を対象としている。高齢者、障がい者、妊産婦及び乳幼児などの特段の配慮を要する方と、介護を行う方が同伴で宿泊することを基本とする。

再質問 ホテルへの避難を、



福祉避難所となる市内ホテル

誰がどこで決定するのか。
総務部長 指定避難所において福祉的トリアージを行い、協定を締結している福祉施設

やホテルへ移送する考えである。

再質問 今後は、市内の他の宿泊施設とも協定を締結する考えか。

答弁 検討していきたい。

再質問 閉校した学校施設を避難所とし、除草など施設のメンテナンスを行ってはどうか。

答弁 施設管理者と話し合っ
ていきたい。

質問2 八街市の交通事故を

うけて文部科学省から実施依頼のあった通学路の点検の結果はどうだったか。

教育部長 緊急一斉点検として、交通量の多い道路や、歩道が十分に確保されていない道路など市内60箇所について点検し、対策を検討した。

再質問 以前から安全対策の要望が出ている箇所への対応はどうなったのか。

答弁 整備等の対応が必要な場合は、道路管理者等に要望を続けている。

再質問 学校の統合により通学路が変更された箇所
に調査や対策は行われているか。

答弁 スクールバスの乗降場所までの経路についても、今回の調査で報告があった箇所は対策を検討した。

ば詰め込み状況ではないか。

答弁 数字の上では、密集度は高いが詰め込み状況とは考えない。

再質問 文部科学省は31学級以上の過大規模校の早期解消を求めているが、印西市はどう対応していくのか。

教育部長 短期的には学校施設の増改築で対応し、適正規模超過が将来的に継続する見込みの場合は通学区域の見直し等を検討する。

再質問 小規模校の閉校は、若い世代の地域への定住を困難にし、地域コミュニティの崩壊につながると思うがどう考えるか。

答弁 閉校が地域コミュニティの崩壊につながるとは考えていない。

質問3 国の指針により、人口10万人あたりに1カ所の「児童発達支援センター」を設置しなければならないが、

印西市はどうなっているか。
福祉部長 児童発達支援センターは令和5年度末までに、各市町村に少なくとも1カ所以上設置する方針が示されている。現在の子ども発達センターを移行させていく方向で体制整備を進めている。

再質問 子ども発達センターの何をどう変えて児童発達支援センターに移行するのか。

答弁 通所支援のほか、発達に関する相談を受け、障がい児を受け入れる施設への援助、助言を併せて行うことになる。

再質問 子ども発達センターの現在の相談実績をみると作



子ども発達センターは改修工事のため本塾支所内へ

業療法は3歳以上の子が年1回ようやく受けられる状態かと推察するが。
答弁 状況により年2回の子もいるが、作業療法相談は年1回という現状である。
再質問 児童発達支援センターに移行するにあたって、どこを充実していくのか。

答弁 専門職の確保に努める。
再質問 子ども発達センター

のある保健福祉センターは大规模改修工事が予定されているが、その間、機能は維持されるのか。

答弁 本塾支所及び本塾保健センターで継続していく。

質問4 普通教室24学級規模で建設された校舎や校庭・体育館に、予定規模以上の児童生徒や教職員が詰め込まれている学校の現状をどうみているのか。

教育長 増改築により必要教室数を確保している。また児童生徒数に応じた創意工夫のある教育活動に取り組んでおり、支障はないと考える。

再質問 増築により普通教室は確保されても、音楽室、理科室などの特別教室や校庭、体育館など施設全体で考えれ

問 印西市でのワクチン接種の完了は

答 本年11月までに完了予定

「響(ひびき)」金丸和史議員

質問1 組織・人事に関する

ことで、会計管理者と会計課長の兼務は解消するべきではないのか。

市長 個々のポストに職員を

配置することが基本と認識しているが、結果として兼務等の対応となっている。

質問2 監査委員制度について

では、私が監査委員に就任していた時に代表監査委員が亡くなり、1名のときがあったが、危機管理として、現行の

2名体制でよいのか。

市長 現在の体制で、継続していきたい。

再質問 今後の議会選出の監

査委員について、議会から、監査委員経験者と執行部との話し合いの場を設定することを提案するが、どう考えるか。

答弁 議会の総意で、議長から申入れがあれば尊重する。

質問3 新型コロナウイルス

対策において、ワクチン接種の進捗が、印西市は遅いとい

う意見があるか、どうなのか。

市長 千葉県全体の状況から、他とほぼ同じ状況である。

質問4 11月26日以降の接種

はどうなるのか。

市長 12歳に達してから接種となる対象者もいるため、国が示している令和4年2月までは実施する意向である。

質問5 集団免疫を獲得する

ための接種であり、接種率をどのように考えているのか。

市長 接種できない方や希望

しない方もいるので、100%は難しいと考えている。

再質問 柏市では出産して間

もない子が亡くなるという不幸なことが起き、その妊婦は同居の方はいなかったと聞くが、集団免疫や感染防止の観点から、妊婦の同居の家族は優先接種の対象とすべきではないのか。

健康こども部長 妊娠中の方

については、8月20日から優先予約を可能とし、周知している。また、同居の家族については、40歳以上の方は既に予約を受け付けており、また、12歳から39歳の方は、9月6日から予約を開始できるように準備を進めている。

再質問 他市に先駆けて感染

予防対策として、学校や保育園を授与する予定である。

再質問 特に今回は、順天堂

大学関係の選手が大活躍してくれたが、マスク以外での順天堂大学とのコラボ等は考えないのか。

企画財政部長 今後、順天堂

大学と調整していきたい。

再質問 特別展示等の開催を

考えてはどうか。

答弁 パラリンピック開催中

であるため、場所や内容、実施時期等も含め、今後検討していく。



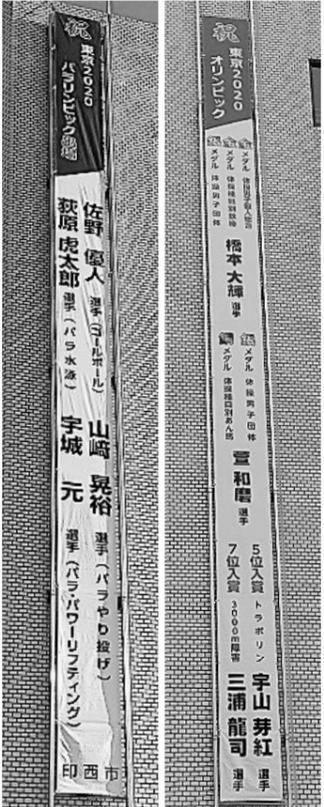
牧の原モアに開設されたワクチン接種会場

再質問 自宅療養者にパルスオキシメーターを貸し出して

いる自治体もあるようだが、印西市では行わないのか。

健康こども部長 千葉県が自

宅療養者全員に行き渡るよう準備することであり、市



感動をありがとう

問 大規模校の適正化をどう考えるか

答 対策を柔軟に考えていきたい

「新政」 軍司 俊紀 議員

の概算として大規模校では約3800万円、小規模校では約1700万円である。

再質問 現在運行しているスクールバス1台あたりの経費はどのくらいか。

答弁 令和2年度の契約実績をもとに算出すると、スクールバスを運行している4つの小学校における1台あたりの年間経費は、平均で約510万円である。

再質問 市における大規模校をどのように適正化していくのか。スクールバスで他の学校へという声もあるようだが、原山小学校及び高花小学校の空き教室の状況を伺う。

答弁 令和3年5月1日現在、一部改修等が必要な教室を含む

学習を継続できる体制を整えている。

再質問 保護者から、双方向通信によるオンライン授業を行った場合、データ通信量の不足を心配している声が上がっている。データ通信量を増やすよう、契約の変更はできないのか。

答弁 子どもたちの健康状態も考慮し、実績も踏まえ、課題としていきたい。

に当たり、県教育委員会から教員の配置等についての通知や情報等がない状況である。国や県の動向を注視しながら検討していく。

勢が大きく変化し、また、新しい時代に対応していく教育を行う必要がある、それに応じた環境の整備と質の向上を図っていきたい。

質問2 学校1校当たりの運営コストは大規模校と小規模校でそれぞれいくらか。

再質問 小学校での教科担任制について、小規模校では、教科担任を置くこと自体できず、授業や教員の連携など、うまく機能しないのではないかとと思うが、どう考えるか。

再質問 小学校でオンラインを活用した授業が実施できる体制を整え、2学期以降に、臨時休業や出席停止等をやむを得ず学校に登校できない児童生徒が自宅等でも学習を継続できるように学校に指示をした。

再質問 「学校に指示をした。」とのことだが、学校はどのようにして「学びの保障」をす

るのか。

答弁 各学校では、一人一台パソコンによる学校と児童生徒をオンラインで繋いだ学習と、プリントの配付やドリル等の使用による学習を併用しながら、児童生徒が自宅等

規模校の解消につながる増築等に係る費用も抑えられるのではないかと思っている。大規模校から歩いて通学できる範囲の学校へ学区外就学を柔軟に認めていくなどして、適正な学校規模や配置を図った

かどうか。

答弁 通学区域制度の弾力的な運用により、大規模校に近い学校へ学区外就学を柔軟に求めていくことは、大規模校における対応策の一つとして考えている。児童生徒数の推移、通学距離、施設の状況などを勘案し、対応を検討していきたい。

再質問 新型コロナウイルス感染症の感染者が依然として多い中で、2学期以降の新型コロナウイルス感染

質問1 学校規模の適正化について 市が考える「より良い教育環境の整備と教育の質の向上」とは何を指すのか。

教育長 小学校では令和3年度から令和7年度にかけて第2学年から第6学年まで1学級35人に段階的に引き下げられることとなる。また、令和4年度より、小学校の高学年に教科担任制が導入される予定である。学校を取り巻く情

況、原山小学校、高花小学校には、それぞれ12教室の余裕がある。

ICT教育に特色のある原山小の活用をすべきではないか



ICT教育に特色のある原山小の活用をすべきではないか

再質問 原山小学校と高花小学校には、現在十分な空き教室がある。特に原山小はICTを活用した授業が進んでおり、特色・魅力ある教育を行っている。このような学校の空き教室を活用することで、大

規模校の解消につながる増築等に係る費用も抑えられるのではないかと思っている。大規模校から歩いて通学できる範囲の学校へ学区外就学を柔軟に認めていくなどして、適正な学校規模や配置を図った

かどうか。



一人1台のパソコン教育からオンライン授業を視野に入れていく

総務企画常任委員会



【議案第1号】行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

【内容】番号法が一部改正されたことに伴い、条例中で引用する番号法の条項番号の整合を図るほか、所要の規定の整備を行う。

問 印西市手数料条例で個人番号カードの再交付について削除となっているが、

答 再交付手数料800円が無料になるのか。

答 番号法の改正により、個人番号カードの発行及び発行に関する手数料に係る事務が地方公共団体情報システム機構の事務に変更となる。そのことに伴い、市町村が行う個人番号カードの再交付に係る手数料条例の規定を削除するものであるが、令和3年9月1日以降、市町村長は、地方公共団体情報システム機構の委託を受けて発行手数料を徴収することになるので、従来どおり窓口で支払うことになる。

問 デジタル庁が設置されたことに伴い、市の業務、所管が替わるのか。

答 市として所管部署は替わらない。

【審査結果】

| 番号 | 件名 | 結果 |
|-------|---|----|
| 議案第1号 | 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 | 可決 |

建設経済常任委員会



道路変更が予定される別所地区

【議案第6号】道路線の変更

【内容】現在ある市道付近に県道との接続する市道を建設するので、路線名変更となる。

問 道路も完成し用地には木杭があるのだが、路線認定を行うのか。

答 国の補助を受けるために必要な要件を満たし、租税特別措置法の適用を受けることができる。

問 筆数及び所有者は何名か、そして完成の見込みは。

答 道路用地は87名を予定し、工事完了は、令和6年度を予定。

【議案第7号】道路線の認定

【内容】印西市道路線として19路線の認定

問 滝野地区の道路はすでに使用されている、移管されるに当たり傷み具休など、瑕疵が無いことは確認されたのか。

答 2年間の瑕疵担保期間があり、修繕が発生した場合、開発事業者に対応させる。

問 道路の路線番号は、印西地区、印旗地区、本埜地区でばらばらだったが統一されているのか。

答 管理上、業務上に支障はないが、将来的には印西地区方式を採用し統一を図るように検討している。

【審査結果】

| 番号 | 件名 | 結果 |
|-------|-----------|----|
| 議案第6号 | 印西市道路線の変更 | 可決 |
| 議案第7号 | 印西市道路線の認定 | 可決 |

印西市手数料条例等の一部改正

印西市道路の変更と認定

各常任委員会の審査

印西市議会では、すべての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。9月17日に総務企画常任委員会、9月21日に文教福祉常任委員会、9月22日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催し、慎重な審査を行いました。委員会で行われた議案に対する主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

教育環境改善に

関する請願書は採択へ

文教福祉常任委員会



休み時間の風景

【議案第2号】印西市歯と口腔の健康づくり推進条例の一部を改正する条例の制定

【内容】虫歯や歯周疾患等の予防対策に加え、新たに高齢者の低栄養に伴うフレイル予防などの取組を加えるとともに、用語の整理を行うもの。

問 条例が改正されると具体的に

どのように変わるのか。

答 保健事業の中で、歯科医師と協力しながら今後進めていきたい。

【議案第5号】工事請負契約の締結

【内容】滝野中学校に鉄骨造3階建て、普通教室13室、特別教室等を増築するため工事請負契約を締結する。契約の金額8億3380万円。工事完了予定は令和5年2月28日。

問 滝野小学校と滝野中学校は共同で特別教室を使っていたが、今回の工事で解消できると考えてよいか。

答 兼用を解消できると考えている。

【請願第3-2号】教育環境改善に関する請願書

【内容】1、小規模特認校制度を導入し、過小規模の解消
2、スクールバスを運用した柔軟な学区外就学を実施し、過大規模の解消
3、「過小規模を解消し小規模校の存続」と「過大規模を解消し大規模校の適正規模化」

【質疑内容】「署名活動の範囲」「アンケートの内容」「スクールバス」「小規模特認校制度」「学区」について紹介議員及び執行部職員に対し活発な質疑が行われました。

【請願第3-3号】新型コロナウイルス対策に係る緊急請願書

【内容】新型コロナウイルス対策を東京都、千葉県及び印西市へ要請する。

【審査結果】

| 番号 | 件名 | 結果 |
|---------|--------------------------------|----------|
| 議案第2号 | 印西市歯と口腔の健康づくり推進条例の一部を改正する条例の制定 | 可決 |
| 議案第5号 | 工事請負契約の締結 | 可決 |
| 請願第3-2号 | 教育環境改善に関する請願書 | 採択すべきもの |
| 請願第3-3号 | 新型コロナウイルス対策に係る緊急請願書 | 不採択すべきもの |

令和3年第3回定例会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥(地方自治法の定めにより本人等が関係する議案の採決に加われません。) —=その他 ※議長(中澤 俊介)は採決に加わりません。

| 番号 | 件名 | 議決結果 | 中澤俊介 | 山田喜代子 | 板橋睦 | 金丸和史 | 軍司俊紀 | 松尾榮子 | 増田葉子 | 藤代武雄 | 近藤瑞枝 | 海老原一 | 岩崎成子 | 浅沼美弥子 | 櫻井正夫 | 米井重行 | 小川利彦 | 稲葉健 | 伊藤真一 | 松本有利子 | 藤江研一 | 梶原友雄 | 柿原健一 | |
|---------------------|-----------------------------|------|------|-------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|-----|------|-------|------|------|------|---|
| 《議案》(市長提出議案) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定第1号 | 令和2年度印西市一般会計歳入歳出決算認定 | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第2号 | 令和2年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第3号 | 令和2年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算認定 | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第4号 | 令和2年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 《請願》 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 請願第3-2号 | 教育環境改善に関する請願書 | 採択 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請願第3-3号 | 新型コロナウイルス対策に係る緊急請願書 | 不採択 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |

令和3年第3回定例会 全会一致(可決・認定・同意)議案一覧

| 番号 | 件名 |
|---------------------|---|
| 《議案》(市長提出議案) | |
| 議案第1号 | 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 |
| 議案第2号 | 印西市歯と口腔の健康づくり推進条例の一部を改正する条例の制定 |
| 議案第3号 | 令和3年度印西市一般会計補正予算(第6号) |
| 議案第4号 | 令和3年度印西市介護保険特別会計補正予算(第2号) |
| 議案第5号 | 工事請負契約の締結 |
| 議案第6号 | 印西市道路線の変更 |
| 議案第7号 | 印西市道路線の認定 |
| 議案第8号 | 令和3年度印西市一般会計補正予算(第7号) |
| 認定第5号 | 令和2年度印西市水道事業会計決算認定 |
| 認定第6号 | 令和2年度印西市下水道事業会計決算認定 |
| 同意第1号 | 印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求め(小林哲也氏) |
| 同意第2号 | 印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求め(寺田充良氏) |

請願

第3-2号 ▼教育環境改善に関する請願書 〈採択〉

第3-3号 ▼新型コロナウイルス対策に係る緊急請願書 〈不採択〉

陳情

第3-3号 ▼辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情 〈議員配布〉

第3-5号 ▼ゼロカーボンシティ宣言の表明に関する陳情書 〈議員配布〉

第3-6号 ▼人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること 〈議員配布〉

第3-7号 ▼戦没者の遺骨が眠る土砂を辺野古新基地建設の埋め立て等に使用しないよう求める意見書採択の陳情 〈議員配布〉

本会議での討論(要約)

請願第3-2号 教育環境改善に関する請願書

討論

本請願の本質は、学校適正規模化という六千人以上の市民の要望に対して、市が実現のための手段の検討をすることだ。市は学校適正規模等の方針を根本的に見直す予定だが、市民の要望を重く受け止めて見直すためには採択すべきだ。

本件は、6530人の市民の方を含む1万1241名の署名を集め請願された。多数の請願者の願意は尊重すべき。小規模特認校制度は「印西市学校適正配置審議会」に諮問されており、十分に検討いただきたい。審議内容と重なる内容を含む請願なので願意を

賛成

汲み取っていただきたい。今回の署名では、市内の方々が過半数を超え、市外の方々にも賛同者が広がり、会の考え方が、その方々の心に響いたものだと思います。何よりも、大規模学校に見童生徒を詰め込むのではなく、小規模学校への選択肢を願う、署名した方々を尊重して賛成討論といたします。

適正配置は地域のコミュニティの中心。印西市の今後の人口推移を考えた場合、市内の小学校は令和8年に18校中6校が6学級規模の学校になり、18校中13校。実に2/3

反対

以上の学校が適正規模に満たない学校になる。印西市には北総線沿線の学校のみが存続する事になる。

統廃合に危機感を持った地元住民は、市外の船穂小学校出身の関係者からも署名を集めた。古い歴史のある船穂郷から学校をなくすな、の声もある。小規模特認校制度は県内でも導入していることから、検討するべきだ。議会は市民と真摯に向き合い、どう応えられるのか考えるべきである。

請願は、市小中学校の過小・過大規模校対策に、広い視点から取り組みを求める市民、

論

保護者等の強い願意。小規模特認校制度をはじめ、地域の中で安心して学べる学校づくり、過密を解消し一人一人に目が届く学校づくりへ、さまざまな方策で、取り組みを進めることを期待し賛成する。

8月8日の船穂地区イベントで市長は「少人数の学校でも行政のやり方で存続はできる。国を支えていく子どもたちのために真剣に考えなければならぬ」と挨拶した。首長の発言責任は重い。学校適正配置は市の最重要課題の一つだ。早急に現状を把握し可能な手法を模索すべきだ。

継続審査を主張したが否決された。特認校もスクールバスにも反対はしない。大規模校の解消のため、原山小等の空き教室の活用を提案してきた。学校の役割は知識の習得だけでなく、社会生活を営むにあたって生きる力をつける

ことだ。人間関係が固定化した学校で可能なのだろうか。趣旨には賛同だが、「スクールバスを運用した柔軟な学区外就学」は、学区制度からの議論が必要だ。継続審査を求めたが否決され、なぜ採択を

急ぐのか理解に苦しむ。採択はゴールではない。数の力で採択しても、願意実現の力にはならない。議論もなく実現困難なことに賛成はできない。

請願審査については、近い将来に実現の可能性があるの

か厳格に解釈する必要はあると「議員必携」という書物に記され、また、会議規則では「表決には、条件を附けることはできない。」とされる。よって、この請願には、全部を採択するということに賛意を示すことができない。

『発展を続けた
印西市』

船穂中学校

3年

塚岡

忠士



僕たちが日々生活を送っている印西市は、昨年11月からの10カ月でおよそ1300人も人口が増えていきます。その毎月100人を超える人口増加も頷けるほどに、大規模で利便性の高い商業施設が数多く存在し、市内に駅が5つと、交通の便も非常に優れていると言えるでしょう。

このように発展を続けることよって、住みやすい街として取り上げられるこ

とも多々ある印西市ですが、市の発展とは裏腹に、抱えている問題も少なくありません。僕が感じている印西市の問題を1つ挙げるとするならば、市内の地域によって格差が生じているのではないかと、ということを感じます。印西市の大字別人口表を見ると、駅の周辺や大きな道路の近くには人が密集しており、それ以外の田畑や山林の近くなどは比較的過疎な現状です。

このまま人口が多く分布している箇所だけ開発を進めていくと、この格差は更に広がっていくのではないかと思います。ただ、これらの土地の違いはそれぞれの特色であり、重宝されることでもあると思います。

こういった問題点が少しでも改善され、私達の印西市がより良い街へと発展し続けてほしいと思っています。

第4回定例会 会期予定及び日程

第4回定例会は、11月29日(月)から12月17日(金)までの会期予定です。

新型コロナウイルス感染拡大の状況などにより、予定が変更となる場合があります。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議会の傍聴についてはできる限りお控えいただくようお願いいたします。

なお、インターネットによる本会議のライブ中継及び委員会の録画中継を配信しておりますので、ご利用ください。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎ 0476(33)4614

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|------------------------|------------------------|-----------------------|---------------------------------|-------------------------|-------|
| 11/21 | 11/22 議会運営委員会 | 11/23 勤労感謝の日 | 11/24 | 11/25 | 11/26 | 11/27 |
| 11/28 | 11/29 本会議 (議案上程) | 11/30 本会議 (個人質問) | 12/1 本会議 (個人質問) | 12/2 本会議 (個人質問) | 12/3 本会議 (個人質問) | 12/4 |
| 12/5 | 12/6 本会議 (個人質問) | 12/7 予算審査 常任委員会 | 12/8 総務企画 常任委員会 | 12/9 文教福祉 常任委員会 | 12/10 建設経済 常任委員会 | 12/11 |
| 12/12 | 12/13 | 12/14 | 12/15 | 12/16 議会運営 委員会 正副委員長会議 | 12/17 本会議 (議案の採決) | 12/18 |

編集後記

「議会だより」がタブロイド判から現在のA4判に変更されたのは、平成29年の第1回定例会をお伝えする第180号からでした。それは、当時の副議長で編集委員会委員長の橋本和治元議員を中心に「伝える広報」から「伝える広報」へと議会の発信力を高めていきたいとの考えからでした。

議会だより編集委員会は「伝える広報」を最優先に考えています。
(海老原)

- 委員長 玉木 実
- 副委員長 海老原 作一
- 委員 柿原 健一
- 藤江 研一
- 伊藤 真一
- 櫻井 正夫